



標津町社協豆だより



発行／令和5年 1月 1日

赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動 ご協力ありがとうございました



10月1日より始まりました赤い羽根共同募金運動、並びに12月1日より実施いたしております歳末たすけあい募金につきまして、12月31日をもちまして募金運動が終了いたしました。ご協力を賜りました皆様に心よりお礼申し上げます。

赤い羽根共同募金につきましては、次年度の福祉事業への資金として募金総額の約8割が北海道共同募金会より本町に配分され、その用途につきましては、標津町共同募金委員会審査委員会にて審議いたします。また、歳末たすけあい募金につきましては、新しい年を迎えるにあたり支援を必要としている方々に歳末見舞金として民生児童委員を通して配付いたしました。皆様にご協力いただきました募金の実績額につきましては、社協だより3月号にて報告させていただきます。

標津町共同募金委員会 会長 今野 千昭

茶志骨地区いきいき元気レクリエーションを開催しました！



去る12月19日（月）、茶志骨地区町内会連合会の高齢者を対象に、すずらん憩いの家において「いきいき元気レクリエーション交流会」を開催しました。

男性2名、女性8名の合計10名の参加者が、8種目のレクリエーションを通して、元気良く交流することができました。本事業は、社協で行っている「高齢者等交流活動助成金」を活用しており、紅白のチームに分かれ、どのゲームに対しても参加者全員、真剣な中にも笑いがあり、皆さん仲良く楽しみながら終始和やかな雰囲気のもと行われました。種目によっては接戦のものもあり、大いに盛り上がっていました。結果につきましては、5勝3敗で白組が勝利しました。また、個人戦の種目において、輪投げで合計27点の高得点を出したり、ラダーゲッターで5点を連発するなど、スーパープレーも飛び出しました。

いずれにしても参加された皆さん、大変お疲れさまでした。



標津町社会福祉協議会の願い

ひとは、いかなる世（家庭、社会等）でも、一人では生きていけない。そのために「助け合い・支え合い」が必要である。「助け合い・支え合い」には「助ける人・支える人」と「助けられる人・支えられる人」で成り立ち、「自惚（うぬぼれ）」も「卑屈（ひくつ）」もない人間関係であり、同時に「身の丈の支援」を共通認識し、「お互いさま」「ありがとう」が原点である。

町身障協会主催 『紅葉会』 無事終了！

時期的には大変遅くなってしまいましたが、去る11月30日（水）～12月1日（木）、鶴居村の「ホテルグリーンパークつるい」において、3年振りに町身障協会主催の「紅葉会」を開催しました。

参加者は全体で10名（会員8名・事務局2名）と例年より少ない人数ではありましたが、参加された皆さんは、それぞれに楽しんでいただけたようです。



～ご寄付ありがとうございました～

町内茶志骨の郷野 修子 様
よりリングブルの寄付がありました。

前回（平成26年8月）、700Kgで車椅子（自走式アルミ軽量）を購入してから8年4ヶ月が経過しました。この間、皆様のご協力によりまして令和3年10月1日現在の総集荷量は575Kg〔専用袋(25Kg)にして23袋〕となっております。700Kgまで、あと125Kg(5袋)〔ただ、社協に1袋保管しておりますので正しくは4袋〕。



なお、集荷の際は3袋単位となっております。今後とも、ご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。



今年度も北海道コカ・コーラボトリング様より、飲料(10箱)を寄付いただきました。

毎年のことであり、大変ありがたいことです。以下の町内児童館・福祉施設等、5施設へ配布致しました。



キラリ児童館

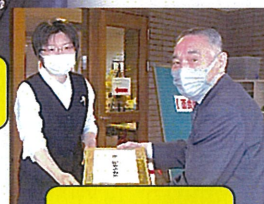


川北児童館



キラリ工房

GH 夢ふうせん空



はまなす苑



献血のお知らせ

令和5年 3月 2日(木)

今年度最後の移動献血車「ひまわり号」が来町します。

3回目において57名以上の方に400ml 献血のご協力をいただくと、年度計画の180人(100%)達成となります。

なお、実施会場並びに時間等につきましては、豆だより2月号にてご案内致しますので、是非、ご協力の程、宜しくお願い致します。

発行 標津町社会福祉協議会

標津町北1条西5丁目6番1-2号 保健福祉センターひまわり内

TEL: 0153-82-1212 FAX: 0153-82-1530